

2024年4月3日
Five.H株式会社

報道各社向けプレスリリース

群馬県で、医療的ケア児のための夜間泊りサービスを開始

【群馬県】2024年4月3日 -

Five.H株式会社（メディケア）は、群馬県において医療的ケアが必要な児童を対象とした夜間泊りサービスの提供を開始いたしました。このサービスは、2024年3月30日に初利用が実現し、今後医療的ケア児とその家族に新たな支援を提供します。

Five.H株式会社（メディケア）は、「私たちでないと解決できない社会課題を、OnlyOneの技術で解決する」という理念のもと、看護・介護事業を行っています。必要なときに、必要なサポートを受けられる体制を、市町村格差なく提供することを目指しております。

サービスの概要

このサービスは、医療的ケアが必要な児童を対象としており、人工呼吸器の管理や痰吸引など、専門的な医療的ケアを必要とする児童に対し、夜間泊りで看護師が自宅へ滞在しケアを行います。その間、ご家族は安心して眠れる環境を提供します。

サービス提供条件としては、障害福祉サービスの居宅介護の支給決定を受けており、夜間の長時間利用が行政から認められている方が対象となります。

医療的ケア児家族の夜間の現状

医療的ケア児の中には、夜間に人工呼吸器を利用しながら生活している子供がいます。人工呼吸器は生命を維持するための重要な機器であるため、本人が苦しさを感じなくても、微細な首の動きが接続部分に影響し、アラームが頻繁に作動します。

このため、時には1時間に4-5回を家族は目を覚ますことも少なくありません。

厚生労働省が2016年に行った調査によると、人工呼吸器を使用する子どもの介護者の約53.5%が睡眠時間が5時間未満であると報告し、70.4%が断続的な睡眠しか取れていないと回答しています。

このように、医療的ケアは一時的な介護ではなく、日常生活の一部であり、慢性的な睡眠不足は、介護者のメンタルヘルスにも影響を与えることがあります。

どの家庭でも子供は、大切な存在ですが、継続する睡眠不足や疲労の影響で、イライラしやすくなるなど精神的な負担を感じる現状も実際に存在します。

サービスの利用方法

申し込みおよび詳細な問い合わせは、メディケアの電話番号（050-5526-1092）にて受け付けております。

利用者の声

私は、子供が気管切開してからこの 6 年間特に医療ケアの状況も変わり呼吸ケアが更に必要となり、昼夜問わず吸引やカフアシストが必要なことが多くなりました。

外出だけでなく、通院に行くことすらも難しくなり、そして、コロナ禍になり、唯一お願いできていたショートステイ先の医療機関もショートステイの停止が続き、休息を取れる時間が全くなくなってしまいました。心身ともに疲弊する毎日。このまま家族共に命を…ということさえ考えました。

子供とずっと一緒に居たい！その想いをとても強くもっています。ただ一日中吸引、呼吸ケアをして睡眠も 3～4 時間と寝不足と疲労が重なる生活が続くと、いつまでこうして一緒に生活し、ケアをしてあげることができるのか、子どもの成長と共に私たち親は年齢を重ね、年々体調を崩すことが増え、体力的にとっても厳しくなっていく…不安がすごく大きくなっていきます。

1 年近く前にブログで、子供と同じミオチューブラーミオパチーの赤ちゃんが退院する時に夜間ヘルパーさんを利用して、睡眠と休息が取れています。という県外に住んでいるお子さんの記事を見つけて、まるで夢の世界のような同じ日本とは思えない話に驚きました。

そんな話は群馬県で聞いたことはありませんでした。私は群馬の医療機関、役所、相談支援専門員に聞いて情報収集しましたが、「聞いたことがない、群馬県では事例がない」との返答でした。

私は、群馬にもそんなヘルパーさんがいてくれたら…と切に願っていました。そんな中で、メディケアと出逢えたことは、子供と一緒に家族みんなで生活していくこと、生きる希望をもらえたと思っています。

今回、群馬県で初めて夜間の長時間の泊りのサービスを利用することができました。この現状を知っていただき、私たちのように希望を持って笑顔で生活できる家族が増えてほしいと思います。

代表取締役 森裕司からのメッセージ

夜間の長時間の居宅介護（障害福祉サービス）の支給決定を行政からいただくことは、とてもハードルが高く、前例のない市町村では難しい現状があります。

今回の支給決定いただいた市町村では、家庭訪問も行われ、家庭での医療ケアの現状を実際に見に来て把握してくださり、障害児とご家族の現状を知ってくださいました。

それが行政内の支給決定する審査会で、正しい現状が担当者から情報提供され、適正なサー

ビスであると必要性が認められ、支給決定に至ったと感じています。

このサービスが、医療ケアを必要とする児童とその家族にとって、一息つける時間を提供し、家族全員がより良い生活を送ることができる支援となることを願っています。

今回、医療的ケア児を持つ家族が抱える負担を少しでも軽減し、子どもたちにとっても安心して過ごせる場所を提供できたことを嬉しく思います。この初となる事例が、各自治体でも検討していただき、実施されることを願っております。

お問い合わせ先

Five.H 株式会社（メディケア）

担当：森

電話：050-5526-1092

WEB サイト：<https://www.hope-kawagoe.co.jp/care/medicare/>